

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

パーパス（存在意義）

世界中の人々の健康と輝かしい未来に貢献すること

QDTENGA供給目
1億回接種分/年

Core営業利益率
30%台前半～半ば

2 中長期の経営戦略

1. 重点疾患領域への研究開発

消化器系・炎症性疾患、ニューロサイエンス、オンコロジーにおいて、希少疾患と高有病率疾患で革新的医薬品を創製

3. 成長製品のグローバル展開

ENTYVIOの皮下注射製剤拡大、QDENGの低所得・中所得国でのアクセス向上を推進

2. デジタル・AI活用によるイノベーション

DD&Tとデジタル技術をバリューチェーン全体で活用し、開発加速から製造、患者対応まで効率化

4. 従業員の人材開発と多様性推進

Career Navigatorで個別キャリア支援、Everyday AI Learningでデジタルスキル育成、多様性と包括性を推進

3 対処すべき課題

① 医療財源不足と価格圧力

- ・ バイオ医薬品業界の最大課題。欧州・日本での価格圧力増大と市場成長抑制
- ・ 米国インフレ抑制法の導入と政府薬価交渉制度が研究開発投資を減速させるリスク

② 地政学的リスクと供給網安定化

- ・ 保護主義拡大と米中貿易摩擦による世界貿易圧力と供給網への影響
- ・ 米国・欧州・日本・シンガポール中心のバリューチェーン構築で貿易摩擦影響を緩和

③ 後期パイプラインの臨床開発進捗

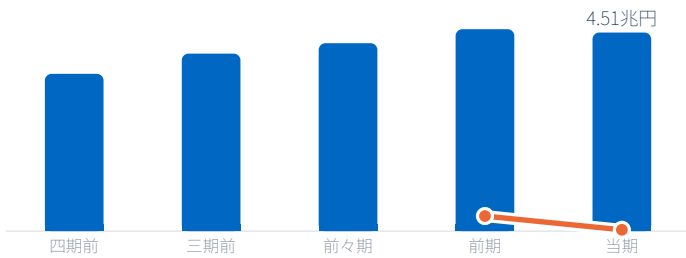
- ・ 2026年3月期時点で6つの臨床第3相プログラムを保有、2025年度～2026年度に3つの承認申請予定
- ・ 2027年度～2029年度に追加5つの承認申請を見込み、ピーク時売上は100～200億米ドル規模

面接で使えるポイント

- ・ Patient・People・Planetの3つの約束のもと…
- ・ デジタル・AI技術とDD&Tをバリューチェーン全体で活用し、イノベーションスピードを加速させている
- ・ 2035年度までに事業活動のネットゼロを目指し、従業員のスキルアップと多様性推進で持続的成長を支える

証券コード 4502

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
連結売上4.58兆円の大規模医薬品企業

主力事業・セグメント

・ 医薬品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ 連結売上高4.51兆円の大企業

・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
4.51兆円営業利益率
0.1%財務健康度
42点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 68.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,144万円

医薬品内 7位/80社

平均年齢

44.0歳

医薬品内 43位/80社

平均勤続

14.8年

医薬品内 21位/80社

女性管理職

22.5%

医薬品内 9位/41社

男性育休

89.7%

医薬品内 15位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

